

UltraLight-Scenario

お嬢を捜せ！

人気の公式パーソナリティ、カーライル・シンジケートの“お嬢”モードレッド・カーライルにスポットをあてたシナリオ。探偵と殺し屋という珍しいバディなのだ。

(掲載日：2016.7.6)

プレアクト情報

PRE-FACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

チャクラ厨 (twitter : @Chakratyuu)

▼プレイヤー人数

2人

▼想定プレイ時間

2.5時間

▼シナリオタグ

モードレッド、カーライル、暗殺阻止

●ULシナリオ

本シナリオは「UL(超軽量)シナリオ」だ。ULシナリオについての詳細は以下のサイトを参照のこと。

http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～30点

▼達成値制限

なし

▼スタイル制限

特になし

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。

N.I.Kの誇る有名人の一人に、サカガワという男がいる。売れっ子ミステリ作家にして優秀な探偵。先日は、あるカーライル幹部の犯罪を告発した。

対し、かの国際犯罪組織も黙っていなかった。報復としてサカガワへ、組織屈指の殺し屋であるモードレッド=カーライルを差し向けた。

と、言うのはつい先刻までの話だ。脅迫や懐柔に満ちた雲の上の話し合いで、カーライル側が譲歩し暗殺指令は取り下げとなった。平和な話である。

しかし問題が一つ——その中止の話が、当のモードレッドへと伝わっていない。

奔放に街に遊ぶミレイティ。彼女を止めるべく追うのは、探偵と殺し屋の急造バディ。

事態の裏に潜む、怨恨と欲望とはいったい何か？ 全てを解決するため、キャストたちよ走れ。

トーキョーNOVA THE ACCELERATION

『お嬢を捜せ！』

しかしあの娘、一体どこをほっつき歩いてるんだ？

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①フェイト』：不屈の探偵（『TNX』p83）

『②カタナ』：現代の騎士（『TNX』p91）

●特記事項

このシナリオは、公式NPC（モードレッド=カーライル『BTD』参照）にカメラを当てたシナリオでもある。シナリオの想定と、遊び手側がNPCへと抱えている印象が食い違うケースもあるだろう。その場合は、上手く相談して欲しい。

（実のところ、『なぜこのNPCが普段とは違い、シナリオにあるような振る舞いをするのだろうか？』という考え方で相談したり、イメージを膨らませるのも楽しい作業である）

●必要な神業

敵側の即死系神業のみでキャストの退場を防ぐのに、合計で2発の防御系神業が必要となる。

加えて『①フェイト』の《真実》には、リサーチイベント中の使用想定が用意されている。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート・警察〉などである。

●N◎VAクルード

基本ルールに準じたルール処理と、N◎VAクルード（『CHM』P16）に準じたルール処理が併記されているので、状況に応じてどちらかのルールを選び、その指示に従うこと。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『②カタナ』→『①フェイト』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

『①フェイト』：探偵

『②カタナ』：カーライル構成員

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：“長者番付けの”サカガワ

推奨スート：感情

キミは探偵だ。キミはその時、カーライルに暗殺予告を受けて震える友人・サカガワに付き添ってやっていた。

雲の上の話し合いでその暗殺命令は取り下げられたが、命令を受けた殺し屋は、知らずに動き回っているらしい。友人のため、そいつの居場所を調べて説得する必要があるようだ。

【PS：サカガワの命を救う】

②推奨スタイル：カタナ

SCENARIO HANDOUT

コネ：“お嬢”モードレッド=カーライル

推奨スート：感情

キミはカーライルの殺し屋だ。同僚にして組織のVIPであるモードレッドにも一目置かれている。

そのモードレッドが暗殺指令を受けてから単独行動をとり、連絡がつかなくなった。そして、組織の決定による暗殺中止。モードレッドを捜しその旨を伝えるべく、キミが動く事となった。

【PS：モードレッドを止める】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

ある事件で探偵サカガワは、カーライルの構成員アンダーソンの犯罪を告発した。そのアンダーソンの父である幹部ビッグダディは報復の念から、組織にサカガワへの暗殺指令を出させる。暗殺の実行は、モードレッドが担当する事となった。

しかしNIKとカーライルの示談の結果、問題の暗殺指令は未然に取り下げとなった。ビッグダディはその事を認められず、モードレッドをあざむき暗殺を完遂させようとする。

キャスト達はサカガワを救うべく、NOVAに潜伏中のモードレッドを見つけ出し暗殺を止めるよう説得する事となる。モードレッドが把握しているアドレスに向かい、ビッグダディたちを倒せばアクトは終了だ。

■クライマックスの条件

「●イベント3：カフェテラスにて」に登場し、モードレッドに《真実》を使用するとクライマックスの条件を満たした事になる。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：事の発端

ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

サカガワがカーライルの構成員・アンダーソンの麻薬密輸ビジネスを告発する。(◆描写1)

カーライルはその報告として、サカガワに対し暗殺指令を出す。(◆描写2)

◆描写1

回想場面。豪華客船で起こった密室殺人。ミステリ作品めいて捜査が難航する中、名探偵サカガワがその真相にたどり着く。

サカガワは関係者を一堂に集め、衆人環視のなか豪華客船のオーナー・アンダーソンを指差した。

▼セリフ：サカガワとアンダーソンの会話

「犯人は貴方だ、アンダーソン氏。貴方はカーライルシンジケートの構成員として、この船を使って大掛かりな麻薬密輸を行っていた。その事に気付いてゆずろうとした被害者を、密室に仕込んだ毒針トラップで殺した。違いますか？」

「面白い意見ですな探偵さん。しかしその証拠はどこにありますか？」

「証拠をお見せしましょう。一つは、被害者が隠していた密輸の証拠ディスク。もう一つは、この豪華客船の設計図を誤魔化すよう貴方に指示されたという証言です。例えば貴方が無関係を主張しても、犯罪の告発は免れません」

「クッ。黙れ探偵風情が！」

「ば、暴力反対！ エーオホン、残念ですアンダーソ

ン氏。我々は気持ち良く、この豪華客船の旅を過ごしたかったのですがね」

◆描写2

アンダーソンはもがくも、警官に連行されていく。そして少し後、北米のカーライル・シンジケート本部にて。組織のトップであるアーサー＝カーライルは部下にこう告げた。

▼セリフ：アーサー＝カーライル

「我々シンジケートにたて突いた者を許すな、という意見もある。このサカガワとか言う男を……消せ」

◆結末

サカガワに暗殺指令が出される。シーン終了。

No Image

▼設定

「このままでは、私の人生がバッドエンドだ！」
売れっ子のミステリ作家にしてNIK所属の探偵。華々しい肩書きや活躍とは裏腹に、荒事は大の苦手。

カーライル・シンジケートに狙われた事に動揺し、友人の『①フェイト』にすぎる事となる。余談だが「カメラ記憶」(「TNX」p198)の持ち主。

▼神業

《買収》のみ使用する。「●イベント2：サカガワかく語りき」を参照。

「長者番付けの”サカガワ

エグゼク○、フェイト●、カブキ

●オープニング2：トラブルは続く

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可

◆解説

サカガワの自宅で会話。サカガワはカーライルの襲撃を恐れている。その後、暗殺指令は示談で取り下げられたが、殺し屋がまだ動き回っていると連絡が入る。

カーライル側の人員（『②カタナ』）も派遣されるので、合流して探し出すこととなる。

◆描写

舞台はグリーンエリア、サカガワの自宅。黒服の護衛たちもいる物々しい雰囲気の中、サカガワは震えている。『①フェイト』は友人として付き添っている。

▼セリフ：サカガワ

「カーライル・シンジケートは本気で私を殺そうとしている。脅しの電話が数十件、電車を待つ途中で背中を押されたり、車に轢かれそうになったりもした！」
「殺し屋のモードレッドも動き出したというじゃないか！『①フェイト』、私は死んでしまうのか？」

▼セリフ：メイド（エキストラ）

「サカガワ様、お電話です」

◆描写2

サカガワはどこかとお話中、まずは目を見開き、安堵の表情を浮かべ——最後には焦り始めた。

▼セリフ：サカガワ

「『①フェイト』、良いニュースと悪いニュースがある」「まず、NIKを通してカーライルとの示談が成立した。幾つかの便宜と引き換えに“不幸な行き違いから為された部下への指示”を取り下げる、という旨のサイン入りの念書も確認した」

「しかし、その部下——殺し屋には中止の連絡が届いていないらしい！」

「知らぬままに私に襲い掛かれてはたまったものではない。『①フェイト』、悪いが探し出してくれないか？」

人探しは得意だろう？」

「（了承した）ありがとう……それしか言葉が見つからない。カーライル側からも人をよこすらしいから、相談してくれ、って話だ」

◆処理

『②カタナ』のアドレスと調査費用1ゴールド（5報酬点）が渡される。

◆結末

『①フェイト』がサカガワの頼みに承諾したら、シーン終了

●オープニング3：ミレディ消失

シーンプレイヤー：『②カタナ』

登場：不可

◆解説

前半は、回想場面でモードレッドと会話。モードレッドは家族に危害を加えられた場合、どのような気持ちになるか『②カタナ』に尋ねる。

キャストの回答を聞いたのち、モードレッドは殺しの任務を真面目に行う事を匂わせつつ退場する。

後半は、クーゲルよりモードレッドの受けていた暗殺任務が中止となった事、当人の行方が掴めていない旨の連絡が入る。

暗殺対象が頼りとする探偵（『①フェイト』）と合流して、探し出す事となる。

◆描写1

回想場面。MUGENリゾート社屋の休憩スペースで、モードレッドと会話になる。

▼セリフ：モードレッド

「チャオ、『②カタナ』。調子どう？」

「パパからの指示で急な仕事入っちゃってさ。もう、憂鬱」

「あ、そうだ。質問があるんだけど、家族がいてさ。その人が酷い目にあったら、『②カタナ』の場合はどうする？」

「（回答を聞いた）ふーん、なるほどなー」

「それじゃ、ボクは仕事に入るね。たまには真面目にやるかな」

◆描写2

そして現在。クーゲルより緊急に電話が入る。

▼セリフ：クーゲル

「『②カタナ』、いま動けるか？ モードレッドに関してトラブルが起きた」

「奴はサカガワという探偵を消すよう指示されていた。だが、組織の決定で、その指示したいが取り消された」

「しかし、当のモードレッドのゆくえが知れん。ヤツが窮地にあるとは考え辛いが、殺しを実行されても困る」

「緊急に探し出す必要がある。『②カタナ』、お前が頼りだ」

「（了承した）サカガワの側からも、人探しのプロを手配するという話だ。同行しろ」

◆処理

『①フェイト』のアドレスと調査費用1ゴールド（5報酬点）が渡される。

◆結末

『②カタナ』がモードレッドを捜す事を承諾したらシーン終了。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：紳士的な魔手

条件：【モードレッドの足取り】をリサーチした
シーンプレイヤー：『②カタナ』

登場：(社会：ストリート) など / SR：レッド

◆解説

ゲイザーがゴースト登場し、P C に対し〈碎魂者〉(『CTL』p82)を適用した《脳神》で即死ダメージを与える。防がれた場合、ジェントルはシーンより退場する。

◆描写

調査に動く『②カタナ』に、謎の男性からの通信が入る。

▼セリフ：謎の男性 (ゲイザー)

「モードレッド=カーライルはまごうことなく美しい。そして、美しいがゆえに触れてはならない事もある」「キミの事も見つめていたよ、『②カタナ』。私はゆえあって名乗れないが、キミたちの邪魔をせねばならない立場でね」

「悪いがここで消えてもらう」《脳神》を使用する(防いだ)「美しい防ぎ方だ。キミたちとは、また会うことになりそうだ」(退場する)

◆結末

ゲイザーが退場したらシーン終了。

●イベント2：サカガワかく語りき

条件：【アンダーソン】をリサーチした

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：(社会：企業) など / SR：グリーン

◆解説1

サカガワにアンダーソンを告発した時のやりとりを聞きさせる。その内容から、アンダーソンの庇護者の存在が浮かぶ。この話を終えたら◆解説2へ。

◆描写1

ポケットロンでサカガワに、アンダーソン氏について尋ねると少し困った様子を見せる。

▼セリフ：サカガワ

「ああ、豪華客船殺人事件だな。よく覚えているさ。私はいわゆるカメラ記憶だしね」

「特に言う必要も無いと判断していたが、気になる発言をしていたのは事実だよ」

「逮捕の瞬間ね、アンダーソン氏は捕まるまいと抵抗した。警官たちに取り押さえられ、マスクレイドなどのサイバーウェアを無効化されつつ叫んできた」「『お前、よくもやってくれたな。パバに言いつけてやる!』とね。何なら、IANUS使って記憶情報をコピーして見せてもいい」

「正直、見映えのいい光景でもないし、彼の名誉のため伏せていたが……まさか、本当に命を狙われる羽目になるとはねえ」

◆解説2

サカガワはP C たちへの期待の念を述べ、〈専門部署〉(『CTL』p70)を適用した《買取》(『ファイト!』)相当を使用する。(1)

◆描写2

サカガワの証言は終わった。その段で、サカガワはもう少し話をする素振りを見せた。

▼セリフ：サカガワ

「もう少し電話大丈夫か? 少し、話したい事があってね」

「キミが殺し屋を捜しに出た時、正直な話ほっとしたんだ。『君がやってくれるならもう安心だ』ってね」

「安心ついでに、最近確認できていなかったメールボックスを見たら、ファンレターがギッシリ詰まっていた」「『早く探偵物の新作を書け』とファンはせっついてきている。どんなに生き汚くても、まだ死ぬない」

「なんと言うのか……言葉にならないな。とりあえず、引き続き頼むよ、現実の名探偵さん」(神業を使用)

◆結末

神業の処理を終えたらシーン終了。このシーン以降、【ビッグダディ】がリサーチ可能となる。

(1)《ファイト!》相当の《買取》

サカガワはく1直属部署>(TOS94)で、ミストレストループ相当の作品のファンを所持している。それにより、〈専門部署>をもちいた神業効果の書き換えを行っている。

厳密には上記の条件を満たすには、トループもシーンに登場する必要があるが、そこはアクトルールという事で大目に見てもらおう。

No Image

▼設定

「たまには、ちゃんとお仕事するかな?」

公式ゲスト。カーライル・シンジケートのトップの養娘にして、組織でも屈指のカブトワリ。本シナリオでは自由奔放ながらも、状況判断に優れた殺し屋として扱われる。実力ある相手との闘いを好む一面もあるが、今回の件(サカガワ暗殺)はそこまでテンション上がらない。

▼神業

基本的には使用しない。例外についてはクライマックスフェイズ(『●怒恨と欲望』)の注釈を参照すること。

「お嬢」モードレッド=カーライル

マネキン◎ カブトワリ● カブト

●イベント3：カフェテラスにて

条件：【モードレッドの足取りⅡ】をリサーチしたルーラーシーン

登場：(社会：ストリート、企業) / SR：グリーン

※イベントギミックにより目標値20

◆解説

モードレッドがホワイトエリアにて狙撃を行おうとする。登場判定に成功する事で、キャストたちは狙撃を実行する前に登場できる。

モードレッドは暗殺中止を知るとビッグダディについて匂わせる物の、決定的な内容については話さない。

彼女に《真実》を使用すると、《不可触》が解除されビッグダディの計画について話す。

ビッグダディはサカガワが暗殺される瞬間を観覧するため、豪華飛行船で近辺を飛行している。そのアドレスをモードレッドより得られる。

◆描写1

グリーンエリアのカフェテラスの二階。彼女はそこでお茶を飲んでいる。

一息つけたあと、小ぶりの双眼鏡で空を見る。そこには個人所有と思しき飛行船が浮かんでいる。

そして視線を下に移すと、サカガワのアドレスが見える。そこで彼女——モードレッド=カーライルは双眼鏡をしまい、銃の詰まったトランクケースへと指を伸ばした。

あとは一分もかからず、彼女の進めていた『仕事』は完遂するだろう。

▼セリフ：モードレッド

「(キャストが登場した) キミたちは?」

「(暗殺中止を伝えた) へー、それ本当? だったらボクに直接連絡きそうなものだけれど」

「(事情を説明した) 『@カタナ』も言うなら信じるよ。でも、妙な頼み事されちゃったしなー」

◆描写2 (《真実》を使用した)

モードレッドは質問に対し、少しの逡巡の後こたえた。

▼セリフ：モードレッド

「もう隠すべきじゃなさそうだね。ボクは今回の任務の前、ビッグダディに『息子の仇をとってくれ』と熱く言われちゃってね?」

「ビッグダディはサカガワが死ぬ瞬間が見たいって言って、N◎VAに来ている。彼の視界内で標的が死ぬよう、時間調整したりいろいろ頭使ったんだけど」

「(アンダーソンが泣きついた件を話す) それ本当? ちょっとヒュー」

「シンジケートが中止を決めたのなら、もう付き合う義理もないよね。標的はボク好みのイケメン荒事屋じゃないし?」

「ビッグダディはいま、お空にいるよ。ほらアレ」

◆描写3

モードレッドが空を指差すと、個人所有と思しき飛行船が——近付いてくる。

◆結末

ビッグダディのアドレスを得た事を説明してシーン終了。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることができる情報項目は以下のとおり。

全員共通：【サカガワ】【モードレッド】

なお情報項目名の頭にある記号は、N◎VAクルードにおいて、その情報を「能力判定」で調べる場合に使用するスーツを表している。

各情報の頭の数字は通常の判定での目標値、()の中の文字はN◎VAクルードでの目標となる判定結果序列だ。

(成：通常の成功/劇：劇的な成功/A：決定的成功)

♥モードレッド

〈社会：ストリート、警察〉

成立 『BTD』参照。このアクトではカーライル屈指の殺し屋として、【サカガワ】の暗殺指令を受け動いている。

8 (成) 単独で任務に入った後、行方が掴めない。ポケットロンなどで連絡を試みる場合、電話に出ないのではなく着信されていない反応が返ってくる。

10 (成) モードレッド自身には異常なく、自由に動き回っているようだ。【モードレッドの足取り】がリサーチ可能となる。

13 (成) 任務に入る直前、何者かから接触を受けていたらしい。その内容については《不可触》されている。アクトルールによりこの隠蔽神業を解除するには、モードレッドと同一のシーンに登場して《真実》を使用する必要がある。

◆サカガワ

〈社会：ストリート、警察〉

成立 ベルソナはエグゼク。長者番付けにも顔を出す有名作家にして、N1Kに加盟する探偵の顔を持つ。推理力や文才に富んでいる反面、荒事は大の苦手。

8 (成) 過去に、カーライルの構成員である【アンダーソン】の行っていた殺人および、大規模犯罪を告発した。

- 10 (成) カーライルに命を狙われていたがNIKを通して交渉し、示談が成立。暗殺指令は取り下げられた。現在は、カーライル側としてもサカガワを殺されると困った事になる。
- 13 (成) 現在は護衛やセキュリティのある自宅が安全であるとして、待機している。

♣モードレッドの足取り

〈社会：ストリート、警察〉

- 10 (成) モードレッドはグリーンエリアの麻生十番街やショッピングモールで遊んでいる。その内容についてはカードを一枚山引きし、そのスートによって決定する。
- (♠理性) 銃砲店でショッピング。猫型マスコット『プッシー・キャット』のプリントされたアサルトライフルを試し撃ちし、気に入ったのか一丁注文。
- (♣感情) 街のダンスパフォーマーの溜まり場を見物。興に乗ったのか彼女自身も軽く踊りを披露し、なかなか受けた。
- (♥生命) 天然の犬と戯られるというドッグカフェで、ゴールデンレトリバーをわしわし撫でた。
- (◆外界) 敵対組織の者と遭遇戦。手早く返り討ちにしたのち、死体清掃業者に連絡を入れる。
- 12 (成) 暇を潰したのち【サカガワ】のアドレス情報を確認し、グリーンエリアへ移動を開始している。【モードレッドの足取りⅡ】がリサーチ可能となる。
- 14 (成) モードレッドは普通にポケットロンなどを使っている。組織やPCが連絡が取れないのは、【謎のニューロ】が特定の通信を妨害しているためだ。

◆アンダーソン

〈社会：ストリート、警察〉

- 10 (成) エキストラ。カーライルの構成員で、所有する豪華客船を用いた大規模密輸を行っていた。密輸の秘密を知った者を、口封じで殺害するなど余罪も多かった。
- 12 (成) 現在は犯罪を裁かれ服役の予定。また、組織内のライバルを排除するために河渡に情報を売っていた事も判明し、カーライルとしても裏切り者である。
- 14 (成) 逮捕される際、色々と悶着が起きたらしい。現場に居合わせたサカガワにしか知りえない情報もある。

♠謎のニューロ

〈社会：ストリート、テクノロジー〉

- 12 (成) “ジェントルマン”の異名を持つニューロ、ゲイザーが通信妨害に動いている。ゲイザーは腕利きのフリーランスで、通信などの妨害を得意とする。余談だが、美しい人物や技術が好きと言う性格。
- 14 (成) 【サカガワ】の死を望む何者かの依頼を受けたようだが、その人物についてはこのリサーチ項目からは辿れない。

♣ビッグダディ

〈社会：ストリート、警察〉

- 12 (成) ペルソナはクロマク。カーライルシンジケートの国際的な幹部の一人で、公表されていないがアンダーソンの実父である。大規模な密輸を取り仕切る一方、暴力を好む武闘派でもある。
- 14 (成) 息子の罪が裁かれた際、息子を破滅させた相手への復讐を誓っている。
- 15 (成) 最近、とつぜんに休暇をとっている。自家用ヴィークルに乗っての観光旅行という話で、アドレスは取得できない。彼のアドレスを入手するには、特定条件を満たす必要がある。

♥モードレッドの足取りⅡ

〈社会：ストリート、企業〉

- 12 (成) モードレッドは幾つかの物品を用意している。
1. ライフル銃であるサンダーボルトおよび、ロケットランチャーである甲破
 2. 銃器の偽装用アイテムや、変装用のホロファッション
 3. 都市部での移動に適したワイヤーなど。
- 14 (成) サカガワのアドレスより200m程度の場所にある、カフェテラスの二階に向かって。そこは技量に優れたカブトワリなら、サカガワへの狙撃の射線を成立させられる。
- 16 (成) サカガワのアドレスにまずロケットランチャーを撃ちこみ、相手が浮き足だつて移動したところをライフル銃で撃つ流れを、モードレッドは計画している。このアクトでは実効性のある暗殺方法で、実行に移された場合サカガワは死亡する。
- 17 (成) モードレッドのアドレスを入手する。彼女が暗殺を実行する前に追いつくには、目標値20の登場判定に成功する必要がある。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●怨恨と欲望

◆解説

ビッグダディたちが現れ、自分たちの計画を知ったPCたちを始末しようとする。

【SPS:ビッグダディを止める(5点)】を配布する。

カット進行前にゲイザーは《電脳神》を使用し、モードレッドを戦闘より除外する。(アクトルールによる特殊処理である) (2)

◆描写

飛行船の拡声器から、北米訛りの大声が聞こえてくる。船の主の声のようだ

▼セリフ: ビッグダディ

「ゲイザーの報告にあった連中か! このビッグダディの復讐を邪魔するとはいい度胸だ!」

「お膳立てまでして、サカガワとかいうクソが死ぬのを眺めにN◎VAくんだりまで来たのに、計算が狂っちゃったじゃねえか!」

「息子は頭のいいレッガーだった……裏ビジネスで利益を上げるのは当たり前の話だ! それをサカガワが破壊させやがった。恨みに思っただろう?」

「お前ら邪魔者を片付けて、じっくりとサカガワに地獄を味あわせてやる! 『②カタナ』や“お嬢”がいようと知った事か!」

◆描写 2

飛行船がキャストの近くに着陸し、中から武装した男たちが飛び出してくる。

リーダー格と思しき、毛皮のコートを着た太った巨漢。彼がビッグダディだ。その隣には、仮面の紳士——ゲイザーも控えている。

▼セリフ: ゲイザー

「モードレッドは美しい。しかし、最早彼女の殺しを自撃するのは難しいようだ」

「残念だが、彼女はこの場から退場して貰うよ」(《電脳神》)

◆描写 3

ゲイザーが指を鳴らすと同時に、用意されていたドローンがモードレッドを取り囲む。

ドroidはモードレッドの動きを絶妙に邪魔し、彼女は対応にばかりきりになる。

ビッグダディやゲイザーを倒すには、キャストたち自身が当たる必要があるようだ。

▼セリフ: モードレッド

「わ、なにこれ! ?」

▼セリフ: ゲイザー

「さて、次はキミたちのスタイルを見せて貰おう」(カット進行へ)

◆カット進行

キャストより近距離にビッグダディとカプトワリトループ20体、近距離の別エンゲージにゲイザーを配置する。(3)

◆結末

カット進行に勝利すると、サカガワへの危機は解消

■エンディング

演出プランを提示する。PLの要望などを汲みつつ演出すると良い。

◆『②カタナ』

クーゲルが『②カタナ』の働きを評価する。モードレッドのお目付け役として期待する。

◆『①フェイト』

サカガワが『①フェイト』を全力で賞賛する『①フェイト』をモデルにした小説を構想したいと持ち掛ける。される。エンディングへ。

(2) モードレッドへの《電脳神》と打ち消し

モードレッドの戦闘力を警戒したゲイザーによる仕込みである。またメタ的には、キャストたちが自らの手で解決すべき事を示唆する仕掛けでもある。

キャストが《電脳神》を打ち消した場合は、モードレッドは《とどめの一撃》一回分の助力をしたのち、舞台から退場する。(事態への興味を失っているし、組織への帰還や報告を優先するのだ)

(3) 戦力の調整

ゲスト2体が多いと感じられる場合は、ゲイザーを神業のみ使用するエキストラに変更すると良い。

N◎VAクルード用データ

■ビッグダディ

「ここで復讐を止めたら男じゃねえぜ!」

カーライルの幹部の一人でアンダーソンの実父。豪勢な毛皮のコートをつけた初老の巨漢で、大型の拳銃(BBB)を愛用している。

▼スタイル

クロマク◎、カプトワリ●、レッガー

▼神業

腹心 とどめの一撃 不可触

▼カット進行で行うスタイル判定

◆クロマク: 白兵攻撃

部下をけしかける

◆カプトワリ: 射撃攻撃

愛銃のBBBで射撃する

▼レッガー: 白兵攻撃

至近距離で銃をぶっ放す

N◎VAクルード用データ

■“ジェントルマン”ゲイザー

「私は美しい物が好きでね」

ビッグダディと契約するフリーランスのニューロ。仮面にスーツ姿という格好を好む、妖しげな紳士。実力は確かで、連絡の遮断など情報工作を得意とする。美しい容姿や優れた技術の持ち主を賞賛する癖がある。

▼スタイル

ニューロ◎、ニューロ●、カプキ

▼神業

■電脳神 ■電脳神 チャイ

▼カット進行で行うスタイル判定

◆ニューロ: 精神攻撃

電脳をもちいた精神攻撃

◆ニューロ: 精神攻撃

キャストたちのプロファイル情報をもとに追い詰める

◆カプキ: 射撃攻撃

ドローンを操作して射撃させる

ビッグダディ

クロマク◎、カプトワリ●、レッガー

▼設定

「ここで復讐を止めたら男じゃねえぜ！」

カーライルの幹部の一人でアンダーソンの実父。豪勢な毛皮のコートをつけた初老の巨漢で、大型の拳銃(BBB)を愛用している。

▼神業

腹心 とどめの一撃 不可触

▼能力値/制御値

♠理性: 5 / 11 ♣感情: 4 / 13
♥生命: 8 / 13 ♦外界: 8 / 14

▼戦闘データ

[CS] 8 [AR] 1
[防御力] S:2/P:2/I:2

▼一般技能

3♠♣♥♦ ★射撃
1♠♣♥♦ ★回避

▼スタイル技能

2♠♣♥♦ クイックドロウ (TNX214)
2♠♣♥♦ ガンフー (TNX214)
2♠♣♥♦ †必殺の矢 (TNX215)
2♠♣♥♦ †度胸ためし (CTL076)

▼アウトフィット

・BBB電:12/隠:05 (TNX234)
攻:P+9 射程:近~中。巨大なハンドキャノン。
・ベシックフレーム電:15/隠:15 (TNX241)
生身を「攻:P+2」に変更する。
・アサルトナブズ電:16/隠:20 (TNX240)
マイナーアクションで起動。そのメインプロセスの間、物理攻撃で与える肉體戦ダメージに+2
・閃鋼電:16/隠:15 (TNX241)
セットアップで起動。そのシーンの間、CS+6
・フォーマリティ電:15/隠:14 (TNX238)
防(S/P/I):2/2/2 上品な仕立ての防弾スーツ。
・ホットライオン電:-/隠:0 (TNX251)
天然素材という触れ込みの、毛皮付きコート。

▼戦闘プラン

セットアップでは閃鋼を使用。CSを14に上昇させる。ムーブアクションで敵(とくに①[フェイト])に近付くように移動。
マイナーアクションでアサルトナブズを起動した後、〈★射撃〉〈ガンフー〉〈†必殺の矢〉で攻撃。射程:至近~中 達成値+2 ダメージはP11+差分値追加。
肉體戦・精神戦のダメージを受けた際はカット一回、〈†度胸ためし〉を行い[使用したカードの数字+3]点ダメージを軽減する。

“ジェントルマン”ゲイザー

ニューロ◎、ニューロ●、カプキ

▼設定

「私は美しい物が好きだね」

ビッグダディと契約するフリーランスのニューロ。仮面にスーツ姿という格好を好み、妖しげな紳士。実力は確かで、連絡の途断など情報工作を得意とする。美しい容姿や優れた技術の持ち主を賞賛する癖がある。

▼神業

電脳神 電脳神 チャイ

▼能力値/制御値

♠理性: 7 / 13 ♣感情: 7 / 15
♥生命: 2 / 6 ♦外界: 6 / 14

▼戦闘データ

[CS] 8 [AR] 1
[防御力] S:0/P:0/I:0

▼一般技能

4♠♣♥♦ 電脳
2♠♣♥♦ ★心理

▼スタイル技能

2♠♣♥♦ タップマスター (TOS106)
2♠♣♥♦ †ツェノンの背理 (TNX225)
2♠♣♥♦ †虫使い (TNX225)
0♠♣♥♦ ファッションリーダー (CTL060)

▼アウトフィット

・乱波電:18/隠:15 (TNX244)
体内に埋め込まれたタップ。
・ATスレイヤー電:14/隠:13 (TNX245)
ソフトウェア。精神戦で与えるダメージ+2
・マジックポルト電:18/隠:12 (TNX245)
ソフトウェア。精神戦で与えるダメージ+1
・ユアブラアイベート電:-/隠:13 (TOS133)
ファッション。完全オーダーメイドのスーツ。装備者が受ける精神戦ダメージを1点軽減する。
・モンストロ相当品電:13/隠:0 (TNX250)
攻:I+0 受:0 射程:至近

▼戦闘プラン

セットアップは特になし。行動順においては待機し、妨害用のスタイル技能のためARを温存する。
キャストの命中判定などにARを使用し、〈電脳〉〈†ツェノンの背理〉で妨害する。判定の達成値+2。成功した場合は相手の達成値-6。
ARが残っていた場合は、〈★心理〉〈電脳〉〈†虫使い〉で精神戦攻撃を行う。射程:至近~近 達成値+2
ダメージを受けた場合、〈ファッションリーダー〉の効果で2点軽減する。

ビッグダディズ・ファミリー

カプトワリ4レベルトループ

▼設定

「男気ませませ！」

ビッグダディの武闘派の部下たち。ショットガンを味方に当てないよう、巧みにぶっ放す。

▼能力値/制御値

♠理性: 6 / 8 ♣感情: 4 / 8
♥生命: 6 / 7 ♦外界: 7 / 9

▼一般技能

3♠♣♥♦ ★射撃

▼スタイル技能

3♠♣♥♦ †花吹雪 (TNX215)

▼戦闘データ

[CS] 4 [AR] 1
[防御力] S:1/P:1/I:2

▼アウトフィット

・ハントマン電:15/隠:5 (TNX235)
射程:近。攻:I+B。ショットガン。[対象:範囲]。
・アサルトナブズ電:16/隠:20 (TNX240)
マイナーアクションで起動。そのメインプロセスの間、物理攻撃で与える肉體戦ダメージに+2
・アーマージャケット電:12/隠:12 (TNX238)
防(S/P/I):1/1/2。

▼戦闘プラン

セットアップは特になし。ムーブで敵との距離を近に保つ。
マイナーアクションでアサルトナブズを使用したのち、〈★射撃〉〈花吹雪〉で攻撃。射程:近 [対象:範囲(選択)]。達成値+0 ダメージはI+10

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したりプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.UL008 『お嬢を捜せ！』

発行日：2016.7.6

執筆（著作権者） チャクラ厨
イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会
DTP まだら牛
素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL：http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/UL_NOVA.html